

メタセコイア

- ◇ 指定日 平成10年10月1日
- ◇ 所在地 館が森(田老第一小学校)
- ◇ 所有者 宮古市

田老第一小学校の校庭わきにあり、幹の周囲約3.5m、高さ約19mを測ります。

メタセコイアは第三紀植物化石を研究していた^{みきしげる}三木茂博士によって設けられた新属となります。

博士は、比較的浅い粘土層内に埋もれていた杉の仲間の化石の中で、それまでに知られていたセコイア属とは少し異なるものを発見し、メタ^{あと}(後の意味)の字を冠したメタセコイア属を新設しました。

昭和20年(1945年)、中国の四川省磨刀溪の奥地で、村の神木とされていた大木が発見されると、中国植物学会会長の胡博士が手元にあった三木博士の文献と照合し、メタセコイアと同定されました。

その後、アメリカに送られた種子が昭和23年(1948年)に発芽し、その中の100本が日本に寄贈され各地に配布されました。

